

# 全体主義

国枝史郎

青空文庫



全体主義とか全体主義国家とかいうことが盛んに云われている。日本が全体主義国家であるか無いかに就いては私は云わない。いや、むしろ、日本の国を、全体主義というような、外国伝来の言葉をもつて範疇づけることは、その特殊の国体から云つて不当であろうと思う。

しかし、今日の場合、日本民衆に、全体主義の如何なるものであるか、<sup>いか</sup>そうして、現在の日本の国情に於ては、全体主義の内容が、必要化しているということを知らせる必要があるように思われる。

この全体主義の内容が、そうして、その必要性が、民衆の間に徹底したならば、<sup>すくな</sup>尠くも、統制から来る不平や、物資不足から来る不満は解消されるであろう。

全体主義理論家のシュパンの説を、ほんの一部、左に摘録してみる。

「何物も独立自存してはいない。又、独立自存することは出来ない。一切のものは、より偉大なもの、自己を包含するものによつて、支持せられ、そうして実存せしめられる。したがつて、それが自己を包含するものから脱落して独立自存しようとするや、それは立所に滅亡する。人間は、あらゆる精神的共同なくしては、精神的に死滅しなければならぬ。

いかなる動物も仲間無くしては存在せず、いかなる茎も芝生なくしては生存しない。そして石ですら元素界以外に存在するか？ 地球は大空を外にして考えられるだろうか？ 存在する一切のものは全体の一節として存在するばかりである」

まことに解りよい、そうして深い意味を持った、尤もつともしごく至極の言葉だと思う。わけでも

「いかなる動物も仲間なくしては存在せず」という言葉からはクロポトキンの、双互扶助論が連想され「石ですら元素界以外に存在するか？」の言葉の内容に至っては、極わめてそつちよく卒直なる科学的なる、唯物的なる、実証的なる思想によって裏付けされていることに

想到するであろう。

全体主義に哲学が無い、思想が無いなどと云為されて来たことが、これでノンセンスになつたことを知るであろう。

それに、大哲カントやヘーゲルを産んだ独逸ドイツが、思索的な、余りに思索的な独逸人ドイツが、全体主義に、ほんとうに首肯すべき哲学が無かつたならば、何んでヒットラーの下に、全体主義を奉じて刻苦経営しようぞ。

さて我等は国民である。国民は国家の一節であり一細胞である。

国家という全体が——即ち母体が、衰滅に帰したならば、その細胞であり一節である国

民が衰滅することは必然であろう。

では国家がその全体性を活かす必要上統制経済を執行する場合、国民は喜悅して夫れそに  
順応し、それから発生する一時的の物の不足や不自由を克服すべきは、当然と云わずして  
何んぞやである。



# 青空文庫情報

底本：「国枝史郎歴史小説傑作選」作品社

2006（平成18）年3月30日第1刷発行

底本の親本：「外交」

1940（昭和15）年9月2日

初出：「外交」

1940（昭和15）年9月2日

入力：門田裕志

校正：阿和泉拓

2010年11月15日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 全体主義

国枝史郎

2020年 7月18日 初版

## 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>